



厚陽中学校立志式 ～地域と先生と心をつないで思い出を～

1月31日、厚陽中学校で立志式が行われました。厳しさを乗り越える立志式にしようと、2年生全員が東行庵(下関市)までの往復20kmを歩き抜くというもので、昨年からはじめられました。東行庵に着くころに夜明けを迎え、立志の集いを行い、帰路につきます。地域の人や先生に見守られながら4時間近く歩き抜き、ゴールでは、地域の人から生徒たちへ、豚汁がふるまわれました。そこには、助け合い、声を掛け合いながら、みんなでゴールできたことを喜び合う姿が見られ、地域と学校、14歳の生徒たちの心をつなぐ、一生の思い出となる立志式でした。



小野田中学校「Red sugar」 ～体育の授業から全国大会へ～

第2回全国中学校リズムダンスふれあいコンクールで、小野田中学校3年「Red sugar」の9人が優秀賞を受賞しました。体育の授業から生まれたダンスが、全国で認められたことで、何事も前向きに取り組む心が育ったようです。

【問い合わせ先】学校教育課 (☎ 82-1201)

観光ガイド 山陽小野田 検定クイズ

わがまち「山陽小野田」のことをみなさんはどれだけ知っているか、問題にチャレンジしてみてください。

Q63

日本で初めて民間セメント会社を設立した笠井順八翁が、セメントをつくらうと考えたきっかけは、次のうちどれを見学したからでしょうか？

- ①深川セメント工場
- ②美祢の鉱山
- ③山口の燃えない倉庫



Q64

厚狭高等学校の前身である船木女児小学の初代校長 毛利勅子の遺品で、現在も厚狭高等学校に保管されているものは、次のうちどれでしょうか？

- ①長刀
- ②琴
- ③黒留袖

※解答と解説は4月1日号に掲載します。

前回の解答と解説

A61. ①巨

前原一誠の父、佐世彦七が萩の郡吏となったため6歳のときに萩から移り住みました。

A62. ②遺髪

京都で岡崎熊吉の臨終を見届けた中間の玉井が、遺髪を赤川の岡崎家に持ち帰りました。

山陽小野田観光協会 (観光課内 ☎82-1151)

市民病院 ニュース



4月にグランドオープンします

市民病院は、昨年10月に新病院建物を使用しての診療を開始しました。その後、旧病院の解体撤去、駐車場等の整備を行っています。現在は、旧病院の解体がほぼ終了し、4月のグランドオープンに向けて通路等の整備を行っています。

また、旧腎・透析センターを改築して、4月1日に開園する事業所内保育所の整備準備も順調に進んでいます。

臨時職員を募集しています

◎職種 正看護師, 臨床工学技士
※詳しくはお問い合わせください。



山陽小野田市民病院 ☎ 83-2355 <http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/shiminbyoin/>